

福岡県初のグリーンボンド を発行します

福岡県知事
服部 誠太郎



福岡県では、地球温暖化対策実行計画において、長期目標として2050年度までに温室効果ガス排出の実質ゼロを目指し、中期目標として2030年度の温室効果ガス排出量を、2013年度と比べ46%削減する目標を掲げており、県、市町村、事業者、県民が一体となった脱炭素化の取組を進めています。

これらの取組を着実に進めていくための資金調達として、グリーンボンドを発行します。また、グリーンボンド発行を通じた投資家層拡大により、将来の安定的な資金調達につなげていきます。

福岡県グリーンボンドの概要

債券の種類	市場公募債（機関投資家向け）
年限	10年
発行額	200億円（予定）
条件決定日	2023年5月（予定）
引受会社	三菱UFJモルガンスタンレー証券株式会社（事務）／大和証券株式会社／みずほ証券株式会社
格付け	ムーディーズ・ジャパンから国債と同格の「A 1（安定的）」の格付を取得
適合性評価	第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）から、国際資本市場協会（ICMA）によるグリーンボンド原則2021及び環境省グリーンボンドガイドライン2022年版への適合性について、評価を取得
投資表明	投資表明をいただける投資家様については、本県ウェブサイト上で投資家名をご紹介します

主な充当予定事業

分類	対象事業	環境面での効果	関連するSDGs
グリーンビルディング	福岡武道館移転整備（ZEB化）	温室効果ガスの排出量削減	 
再生可能エネルギー	糸島総合庁舎や久留米高等学校などの県有施設への太陽光パネルの設備導入	温室効果ガスの排出量削減	 
省エネルギー	飯塚総合庁舎、博多警察署などの県有施設へのLED照明等の省エネ性能の高い設備導入	温室効果ガスの排出量削減	 
自然資源・土地利用の持続可能な管理	緑化推進事業（県立高校、夜須高原記念の森などの植栽）、林道整備	自然資源の保全	 
生物多様性保全	豊前海・筑前海での漁場整備、藻場の造成	生物多様性の保全	
気候変動への適応	水害対策（河川の河道掘削など）、高潮高波対策（海岸堤防高上げなど）、土砂災害対策（砂防施設、地すべり防止施設の整備など）	水害発生時の浸水被害の軽減など	 

充当予定事業の具体的事例

福岡武道館移転整備（ZEB化施設）

分類	グリーンビルディング
事業概要	老朽化した福岡武道館を移転し、新たに整備（ZEB Oriented以上を取得予定）
環境面での効果	温室効果ガスの排出量削減

新福岡武道館の外観イメージ



太陽光パネルの設置

分類	再生可能エネルギー
事業概要	糸島総合庁舎や久留米高等学校などの県有施設への太陽光パネルの設備導入
環境面での効果	温室効果ガスの排出量削減

県有施設への太陽光パネルの設置（イメージ）



県有施設の緑化

分類	自然資源・土地利用の持続可能な管理
事業概要	県土緑化の推進を図るため、県有施設（県立高校、夜須高原記念の森など）の緑化を実施
環境面での効果	自然資源の保全

県立高校の緑地空間の整備



水害対策・土砂災害対策・高潮高波対策

分類	気候変動への適応
事業概要	水害対策・土砂災害対策・高潮高波対策による災害に強い県土づくり
環境面での効果	水害発生時の浸水被害の軽減など

河川整備



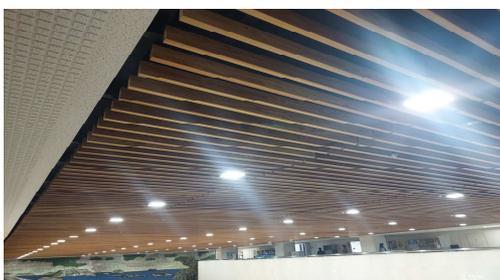
海岸整備



県有施設のLED照明更新

分類	省エネルギー
事業概要	2030年度までにLED照明を100%導入
環境面での効果	温室効果ガスの排出量削減

県有施設のLED照明更新



漁場整備

分類	生物多様性保全
事業概要	豊前海・筑前海での魚礁の設置、藻場の造成
環境面での効果	生物多様性の保全

魚礁の設置



福岡県グリーンボンド問い合わせ先

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	福岡支店 九州法人部	(電話) 092-482-5620
大和証券株式会社	福岡支店	(電話) 092-713-4140
みずほ証券株式会社	福岡支店 法人部	(電話) 092-741-4781

その他市場公募債に関する問い合わせ先

福岡県	総務部財政課	(電話) 092-643-3053 (E-mail) zaisei@pref.fukuoka.lg.jp
-----	--------	---